

フーリエ変換赤外分光光度計(FT-IR)

フーリエ赤外分光光度計は、核磁気共鳴法(NMR)および質量分析法(MS)とともに有機化合物の構造解析に用いられています。特に分子の官能基や速い運動についての情報が容易に得られます。透過法と全反射法(Attenuated Total Reflectance: ATR)を用いることが出来るため固体試料、液体試料の他フィルムなどの測定も容易に行えます。



機種：Jasco FT-IR 460Plus

分解能：1, 2, 4, 8, 16 cm^{-1}

測定範囲：400 cm^{-1} ～7800 cm^{-1}

650 cm^{-1} ～7800 cm^{-1} (ATR法)

ATR法：プリズム ZeSn

反射回数 1回

入射角 45°

試料：固体、粉末、液体、フィルム

※酸・アルカリ溶液は測定できません。

測定費用： 1試料 5000円～

結果の引き渡し：1週間後